

# 消防団用手動式油圧切断機 取扱いマニュアル

## HCT-4120Y



# 目次

1	「概要」・「諸元」	2 P
2	「各部の名称」	3 P
3	「操作要領」	4～6 P
4	「保守管理」	7 P
5	「使用上の注意事項」	8 P
6	「使用状況例」	9 P

## 「概要」

手動式油圧切断機は、油圧の力を利用し、  
拡げ作業や切断作業を行うことが出来る。  
また、軽量のため機動性に優れ、閉鎖空間  
での救助活動にも威力を発揮する。

## 「主要諸元」



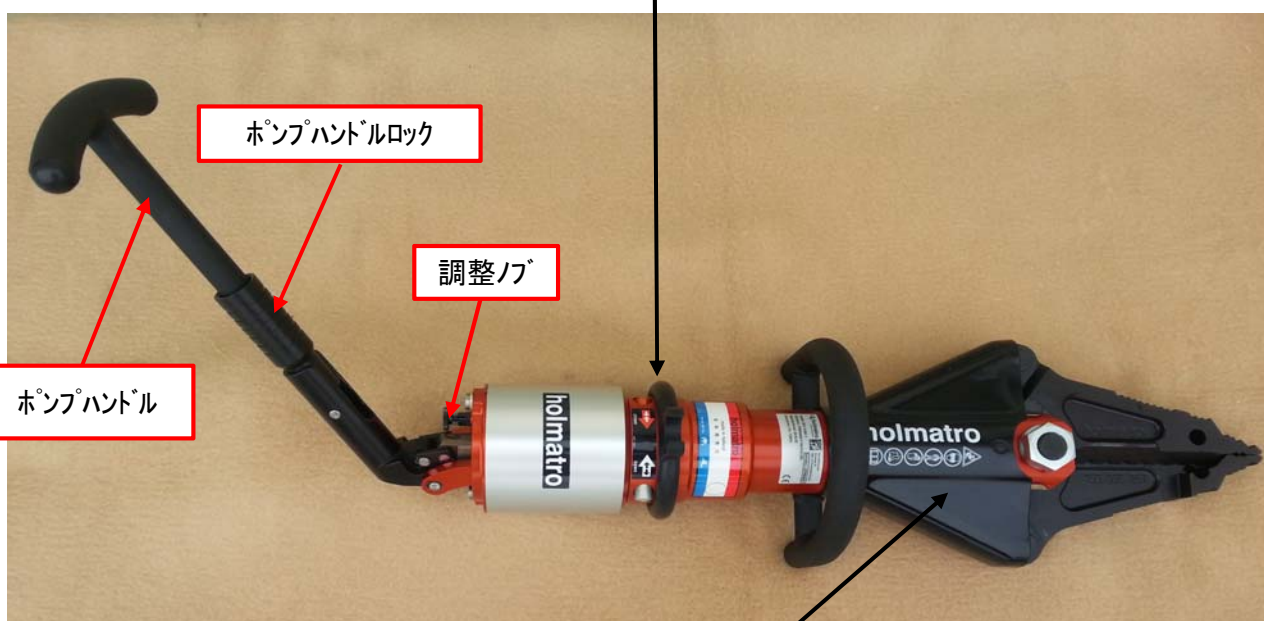
メーカー	ホルマトロ社製
型式	HCT4120Y
機器形状	マルチツール
最大作動圧力	720bar / 72MPs
最大展開幅	270mm
切断刃先開幅寸法	197mm
最大展開力	169kN / 17.2 t
最小展開力	25kN / 2.6 t
最大切断力	260kN / 26.5 t
最大引張力	59kN / 6.0 t
駆動方式	手動
使用時質量	11.1kg
寸法	703mm×200mm×180mm

# 「各部の名称」



ポンプハンドルキャッチ

コントロールピン



ポンプハンドルロック

調整ノブ

ポンプハンドル



付属品接続穴

センターナット

センターボルト

切刃

スプレッドチップ

プロテクションフード

アーム

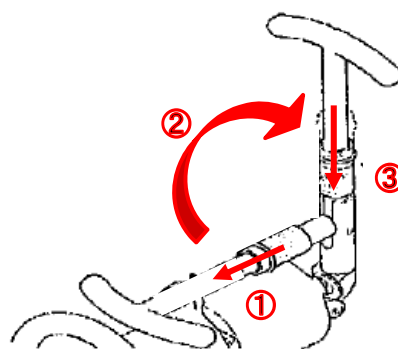
# 「操作要領」

## 《ポンプハンドル展開》 ①



「ポンプハンドル」を「ポンプ  
ハンドルキャッチ」から外す。

②



「ロックリング」を引き上げ、ロックが掛かる位置まで「ポンプハンドル」を起こす。

③



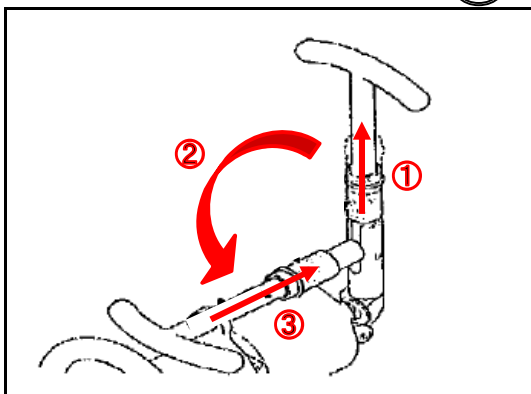
「調整ノブ」を引き、「ポン  
プハンドル」を回転させ、作業に適した位置にセットする。

④



セットした後、「調整ノブ」を戻し、「ポンプハンドル」が固定されていることを確認。

## 《ポンプハンドル収納》 ①



展開と逆順により行う。

②



「ポンプハンドルキャッチ」に「ポンプ  
ハンドル」が収まるように合わせる。



# 「操作要領」

## 《拡げ操作》 ①



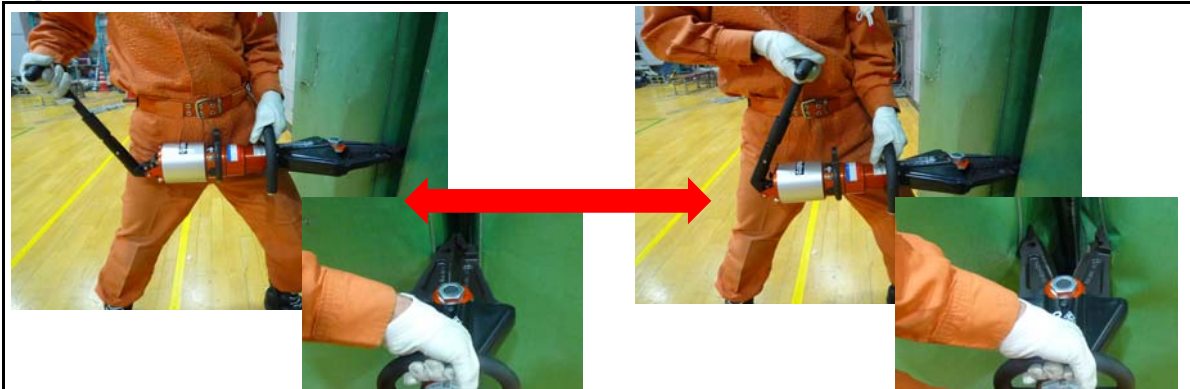
拡げたい部分に先端の  
「スプレッドチップ」を差し込む。

## ②



「コントロールピン」のオープン側を押す。

## ③



「ポンプハンドル」を前後に操作し、刃先を開いていく。

## ④



拡げ作業は、必ず滑り止めのある先端  
の「スプレッドチップ」で行うこと。

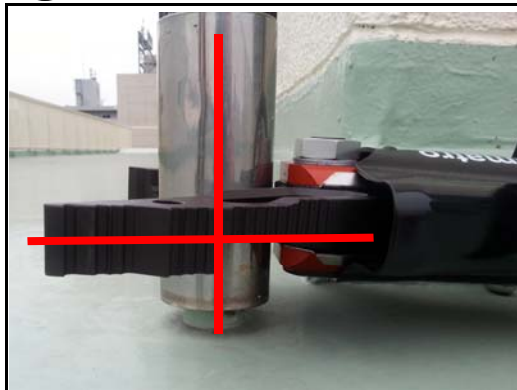
# 「操作要領」

## 《切断操作》 ①



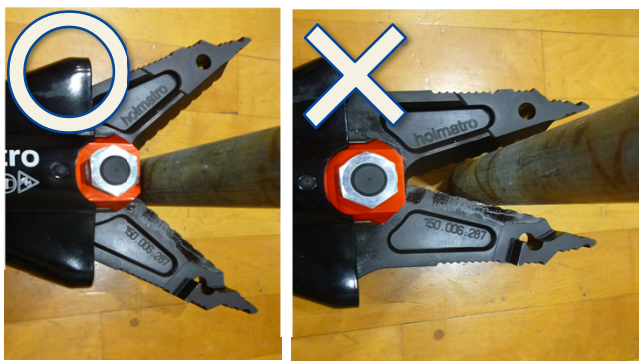
始めに拡げ操作①②③を行う。

## ②



「アーム」を開き、切断物に対し刃先が90度で当たるように構える。

## ③



切断は、「センターボルト」付近で行うこととし、しっかり奥まで押し当てること。

## ④



「コントロールピン」のクローズ側を押す。

## ⑤



「ポンプハンドル」を前後に操作し、切断する。

# 「保守管理」



収納時は、ツールに圧力が掛からないよう刃先を5mm程度開いた状態で保管すること。



「ブレード」の損傷がないか確認すること。  
損傷していれば、「ブレード」を交換するか、適切な形状に研削すること。



使用後は全体を点検し、**損傷・変形**がないか確認すること。



# 「使用上の注意事項」



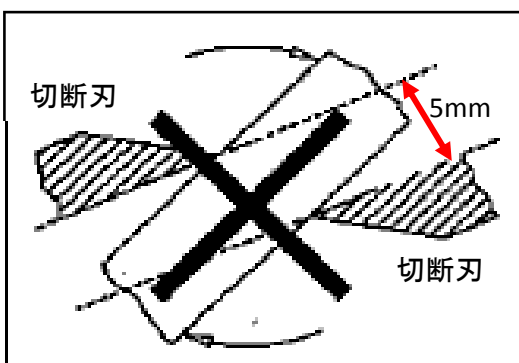
作業時、必ず「安全メガネ」・  
「皮手」・「安全靴」を着用すること。



作動中は、「アーム」と「アーム」  
の間に手や足を入れないこと。



作業時、異常な音や動きがあった  
場合は、直ちに作業を中止すること。



切断中、刃先の広がりか5mm程度にな  
ると能力のほぼ限界なので、その場合  
は一度刃を開き、再度刃を当て直すこと。

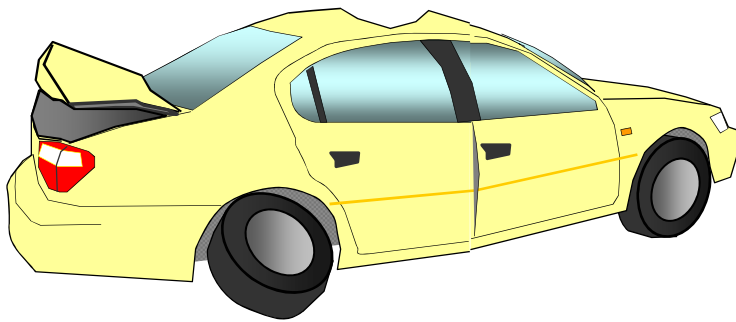
# 「使用状況例」

## 【拡げ作業】

挟まれた人、または閉じ込められている人を救出するための拡げ作業

＜例＞

- ・事故車両のドア
- ・歪んで開かないドアやシャッター



## 【切断作業】

救助活動の障害となる物の切断作業

＜例＞

- ・障害となる単管パイプなど
- ・ブレーキペダルなど

